

赤十字さが

さがの人たちにもっと伝えたい、佐賀の赤十字。



被災者の言葉に耳を傾ける、唐津赤十字病院の医師

能登半島地震 佐賀県支部の活動〔P.2〕

～佐野常民生誕200年記念～

- 九州八県赤十字大会を開催〔P.4〕
- 5月は赤十字運動月間です〔P.5〕



公式 Instagram
更新中



能登半島地震

～被災地に思いを届ける～

日本赤十字社佐賀県支部の活動

令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とする震度7の地震とその後の余震、そして津波により多くの方が被災されました。

日本赤十字社では、発災直後から救護班の派遣準備を開始。

佐賀県支部でも1月12日から医療救護班第1班を派遣し、石川県七尾市での避難所の衛生管理や避難者の健康管理を行いました。その後も医療救護班第2班、第3班、日赤災害医療コーディネイトチーム※を1班派遣し、切れ目のない支援を行っています。（令和6年2月29日現在）



※日赤災害医療コーディネイトチームとは？

災害救護活動が効果的・効率的に行われるよう関係機関との連携及び救護班の活動調整等を行うチームのことで

能登半島地震の被災状況

佐賀県



©Atsushi Shibuya



©Atsushi Shibuya



©Atsushi Shibuya



©Atsushi Shibuya

義援金の受付について

日赤全体実績 23,313,650,753円 (2/21時点)

佐賀県支部実績 69,367,045円/779件 (2/29時点)

お寄せいただいた**義援金**は、**全額**

被災県の義援金配分委員会を通して、被災者のもとに届けられます。

義援金名 令和6年能登半島地震災害義援金
受付期間 令和6年12月27日(金)まで
協力方法 銀行振込のほか現金でも受付をしています。
詳細はホームページをご覧ください。

詳細はこちらから





避難所の衛生環境改善のため清掃を行う(1月16日 七尾市)



災害関連死を防ぐための啓発活動を行う(1月26日 七尾市)



歩行観察と家族への介助指導を行う(1月27日 七尾市)



ノロウイルス感染状況確認を行う(2月6日 七尾市)

救護班第1班に医師として石川県に派遣、避難者の健康管理に当たりました

私たちが行ったのは、七尾市での避難所の衛生管理や避難者の健康管理でした。長引く避難生活によって“二次的な病気”の症状を訴える方も多く、班員全員で情報収集に当たりました。

被災地の一日も早い復興を祈っています。

唐津赤十字病院 救急科医師 日本DMAT隊員 日下 あかり



救護班第1班、日赤災害医療コーディネイトチームとして石川県に派遣

発災して2週間後と、1カ月半後に被災地で活動を行いました。活動内容や、活動場所が異なるので、単純な比較はできませんが、水道が使えないことによる被災者への影響は大きいと感じました。

道路や家の被害を見ると、地域の復興までの道のりは、まだ時間が必要だと感じました。引き続き、被災地へ関心を持ち続けていただければと思います。

日本赤十字社佐賀県支部 災害救護係長 日赤災害救護コーディネーター 上瀧 達也



こうした救護活動や平時の訓練、救護物資の備蓄、車両の維持管理等は、皆さまからの会費やご寄付による**活動資金**によって行っています。赤十字は、公的資金を使わずに事業を行うことによって、国などから独立し、公平・中立な立場で人道的活動を行っています。今後とも日赤へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。





博愛のこころを未来へ

～佐野常民生誕200年記念～
令和5年度九州八県赤十字大会



令和5年11月16日(木)、SAGAアリーナにて『～佐野常民生誕200年記念～ 令和5年度九州八県赤十字大会』を開催しました。

同大会は、これまで赤十字事業推進に貢献された方々を顕彰するとともに、赤十字の益々の進展を願い、毎年九州八県で持ち回りで開催しており、佐賀での開催は11年ぶりとなりました。また、「佐野常民生誕200年記念大会として、「博愛のこころを未来へ」をテーマとし、県内外から約1200名の方々にご参会いただきました。

第一部の式典では、赤十字事業の推進に貢献いただいている個人や法人・団体に対して、日本赤十字社社長より、有功章や感謝状が贈呈されました。さらに、佐賀県青少年赤十字高校生メンバー協議会の2人が大会宣言を行い、佐野常民が遺した「博愛のこころ」を未来につないでいくことを宣言しました。

第二部のアトラクションでは、佐野常民生誕200年を記念して佐賀県が制作した佐野常民の生涯を紹介した動画を上映した後、小・中・高校生をメンバーとする「キッズミュージカルTOSU」が、「博愛」をテーマにしたオリジナル公演を行いました。



あなたと想いをひとつにして。

— 5月は赤十字運動月間です —



赤十字運動月間ポスター

5月1日は日本赤十字社の創立記念日、5月8日は赤十字創始者アンリー・デュナン生誕の日「世界赤十字デー」です。そこで日本赤十字社は、5月を「赤十字運動月間」として、皆さまに赤十字事業をご紹介しますとともに活動資金へのご協力をお願いしています。

佐賀県では、県庁でのパネル展や建物を赤くライトアップする「レッドライトアップ」を県内4か所で計画しています。詳細は支部HPをご覧ください。



レッドライトアップの様子
(久光製薬ミュージアム(鳥栖市))

大雨・台風等の自然災害による 血液不足に備えて



— 継続的な献血協力をお願いします。 —

毎年夏場になると、大雨や台風の影響により、予定されていた献血が中止となり、九州全体で必要な血液量が不足してしまう場合があります。そのような場合でも、医療機関に対しては、日々安定的に血液をお届けする必要があるため、大雨や台風が接近する前後の時期において、被害のない地域の方を対象に、急遽、献血のご協力を呼びかけさせていただくことがあります。安心・安全な血液を患者さんにお届けするため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

献血には
予約が
おすすめです。

只今、
ラブラッドアプリ会員
募集中です。

会員になっていただくと
全国の献血会場の
(お近くの献血バス会場も)
献血予約が可能です。

その他
特典もあります。

ラブラッドアプリのダウンロードはこちらから!



※App StoreおよびAppleロゴは、米国外およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です



※Google Play およびGoogle Play ロゴは、Google LLCの商標です。



ぜひこの機会に
会員登録をお願い
いたします。

・ 12月9日(土)、16日(土)、23日(土) ・

世界各地で苦しんでいる人のために

NHK海外たすけあい 街頭募金

県内7会場で街頭募金を実施しました。

募金活動には、赤十字ボランティアをはじめ、青少年赤十字高校生メンバー、佐賀県赤十字有功会、日赤地区・分区職員、久光製薬株式会社など、延べ250人の方に参加いただきました。

また、たくさんの方に募金に協力いただきました。

(募金額 597,186円)

協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



・ 12月10日(日)、17日(日)、24日(日) ・

学生ボランティアと共同開催!

クリスマス献血キャンペーン

献血者確保が厳しい時期となる冬の献血者確保を目的とした「クリスマス献血キャンペーン」を県内3会場(12/10(日)基山町民会館、12/17(日)ゆめタウン佐賀、12/24(日)フレスポ鳥栖)で佐賀県学生献血推進協議会と合同開催しました。当日は学生サンタクロースが登場し、献血にご協力いただいた方にはキャンドルを進呈しました。3日間で合計153名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。



・ 1月21日(日) ・ 被災地での活動を、赤十字ボランティアに報告!

救護活動報告会

県内の赤十字ボランティアを対象に「令和6年能登半島地震災害」救護活動報告会を佐賀県支部で開催しました。

石川県で救護活動を行った上瀧災害救護係長は、現地の写真を示しながら活動を報告。避難所で住民が協力して生活する姿を見て、「平時からの関係づくりの大切さを痛感した」と振り返りました。

報告の最後に上瀧係長は「支援してくれる人が少なくなってきた、このまま忘れ去られていくんじゃないかと不安」という被災者の声を紹介し、「自分にできることを、できる範囲で、できるだけ長く、みんなで関心を持ち続けてもらえれば」と話しました。



・ 2月2日(金)、3日(土)、10日(土)、3月1日(金)、2日(土) ・

「いのちと健康を守る」人を育てる

赤十字救急法指導員養成講習

佐賀県支部では9年ぶりに赤十字救急法指導員養成講習を開催し、日赤職員を含む10名が受講し、無事に全員が合格しました。指導員は、尊い人命を救助するための知識や技術を市民の方に普及すること、そして事故防止の思想を広める重要な役割を担っています。今後、県内各地で指導員として活躍します。

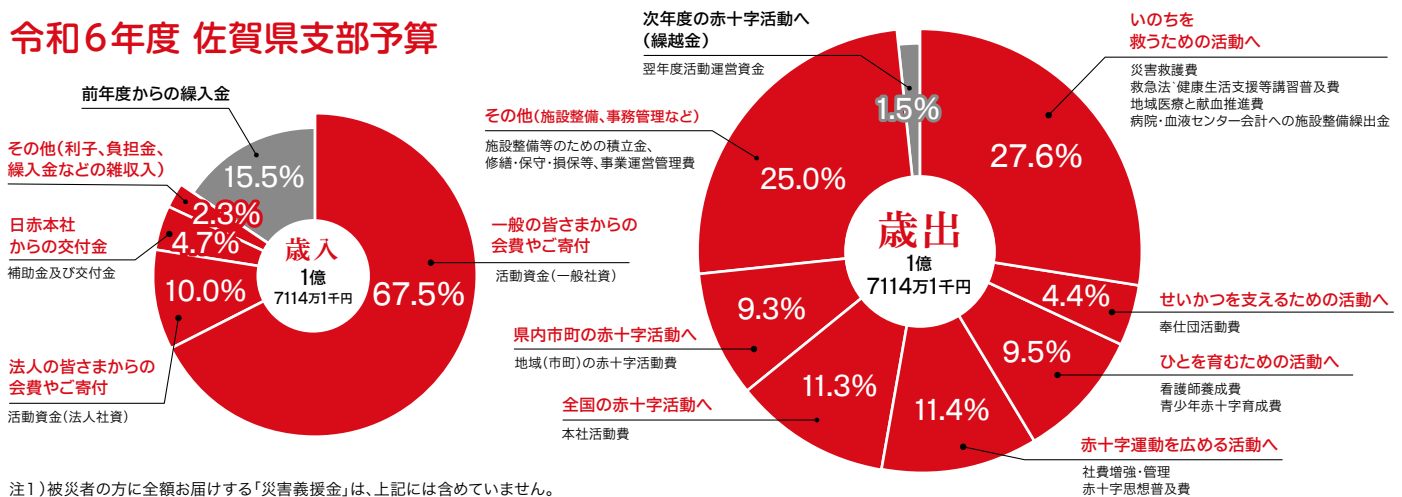


2月8日(木) 令和6年度事業計画及び予算が承認されました

令和5年度第2回支部評議員会

評議員会は佐賀県支部の重要事項を審議する機関です。支部及び唐津赤十字病院の令和6年度事業計画と予算が承認され、佐賀県赤十字血液センターの事業計画が報告されました。

令和6年度 佐賀県支部予算



2月22日(木) 頭痛でお悩みの方は受診を!

「頭痛の日」グリーンライトアップ

地域住民の方々に対して頭痛について適切な医療機関受診の重要性を啓発するきっかけを作ることを目的として、2月22日の「頭痛の日」に合わせて、唐津市近代図書館と唐津赤十字病院をグリーンにライトアップしました。グリーンは片頭痛の患者さんに優しい色とされ、片頭痛啓発のシンボルカラーとされています。

頭痛は私たちにとって、とても身近な疾患のひとつで日常生活へ大きな影響を与えることもあります。頭痛でお悩みの方はぜひ医療機関の受診をご検討ください。



赤十字 Supporters vol.13

サポーターズ

佐賀県立鹿島高等学校

こが ゆうや
古賀 佑耶さん

佐賀県立致遠館高等学校

たなか ゆうな
田中 佑奈さん



古賀さん

田中さん



ボランティア活動で触れた
人の優しさを
私も誰かに届けたい

お二人は、青少年赤十字加盟校の生徒で構成される、高校生メンバー協議会のメンバーです。

昨年11月16日(木)、佐賀県で開催された～佐野常民生誕200年記念～九州八県赤十字大会にて、県のJRCメンバーを代表し大会宣言を行いました。



◆学校ではどんな活動を行っていますか？

古賀さん：鹿島市から依頼されたボランティア活動や、校内の清掃活動を同じ部活動のメンバーと行っています。

田中さん：ボランティア部の部長として、部員60名と一緒に校内の花植え、募金活動、献血活動などを行っています。

◆協議会での活動で印象に残っていることはありますか？

古賀さん：僕は、外国の方との交流会が印象に残っています。内容ももちろんですが、協議会の会長として多くの参加者が集まってくれたことがとてもうれしかったです。

田中さん：AEDの使い方や心肺蘇生の練習をしたのが印象に残っています。知識としては知っていたけど、実際にやってみたら思っていた以上に胸骨圧迫(心臓マッサージ)が難しく、上手く押すことができませんでした。

◆今回の宣言文は自分たちで考えてもらいましたが、どういった思いを込められましたか？

古賀さん：伝わりやすい言葉で、また、赤十字大会という場

にふさわしい言葉になるように意識しました。

田中さん：自分たちらしく、聞いている人たちがわかりやすいように、優しい言葉になるようにしました。

◆学校や高校生メンバー協議会での活動、今回の経験を活かして、将来はどんな人になりたいですか？

古賀さん：4月から進学をして大学生になるので、まずはボランティア活動を続けていきたいなと思います。

田中さん：ボランティア活動を通して、人の優しさに触れ、私自身も誰かに優しさを届けたいと思いました。これまでの経験を活かし、周りをよく見て、自分から動ける素敵な大人になりたいなと思います。

青少年赤十字 高校生メンバー協議会とは？

この協議会では、人道の考えに基づいた活動を校内で実践しながら、学校を越えた交流と、自分たちでアイデアを出しあった活動を行っています。

街頭募金などのボランティア活動、AEDの使い方、手話体験、また留学生との友好親善など、「気づき・考え・実行する」を合言葉に、高校生自身で企画・運営しています。



3施設問い合わせ先

佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL 0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL 0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20
TEL 0952-32-1011



ご愛読
ありがとうございます